令和７年度　指定管理施設検証結果報告書

PLAN

施設名	甲州市勝沼Ｂ＆Ｇ海洋センター				検証日	令和8年7月2日
所管課担当名	生涯学習課　勝沼生涯学習・公民館担当		課長名	坂本　豊	作成者名	後藤　みすず

指定管理者	名称	株式会社　フィッツ				
	代表者	代表取締役　橋本　篤幸				
	所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
	指定期間	令和3年（2021年）4月　～　令和8年（2026年）3月				
管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼1279番地				
	設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るため、財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市Ｂ＆Ｇ海洋センターを設置する。				
	利用者	市民及び市民以外	施設管理体制	3名	開館日時間等	6月・9月：土日・祝日のみ開館　午後2時～5時 7月～8月：午前10時～午後1時　及び　午後2時～5時 休 館 日：営業期間中は毎週月曜日 ：10月1日～翌年5月31日
事業概要	サービス提供の内容					
	指定管理業務	(1) 海洋センターの利用の許可に関すること (2) 海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3) 海洋センターの利用に係る料金に関すること (4) 海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること				
	自主事業	(1) 水泳教室 (2) 水辺の安全教室・ライフジャケット浮遊体験 (3) クリーンフェスティバル (4) 海ごみゼロフェスティバル				

DO

管理運営コスト推移（千円）		令和３年度（指定期間1年目）	令和４年度（指定期間2年目）	令和５年度（指定期間3年目）	令和６年度（指定期間4年目）	令和７年度（指定期間5年目）
予算	指定管理料	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
	利用料金収入	50	150	120	120	120
	その他収入	110	110	130	130	130
	管理運営経費	5,960	6,060	5,990	6,050	6,050
決算	指定管理料	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
	利用料金収入	114	79	85	110	97
	その他収入	133	129	87	131	228
	管理運営経費	5,640	5,736	5,666	5,422	5,555
	収支	407	272	306	619	571

施設の稼動状況		令和３年度（指定期間1年目）	令和４年度（指定期間2年目）	令和５年度（指定期間3年目）	令和６年度（指定期間4年目）	令和７年度（指定期間5年目）
指標	利用者数（人）	4,989	5,542	6,369	6,488	6,163
	自主事業利用者数（人）	256	142	111	201	201

活動結果

令和7年度の利用者数は、前年比94.9%（325名減）となった。勝沼中学校の体育でのプール授業も実施されたが、授業数が減少したことと、近隣の小中学生や高齢者などは猛暑による外出を控える傾向があったためと考えられる。

CHECK

評価観点	評価（5 4 3 2 1）高 → 低	評価の説明
（1）事業の運営	3	基本協定書及び事業計画書に基づき、適切に管理運営が行われている。 幼児・小学生を対象とした水泳教室や水辺の安全教室などの自主事業を実施し、利用者の確保に努めている。
（2）施設の維持管理	3	施設内の整備等については定期的に巡回、点検等を実施し、適正な維持管理に努めている。 プール内の水質管理や室温管理等について日常的に点検を実施している。 施設外の植栽など定期的に清掃等を実施し、景観の維持管理に努めている。
（3）収入支出	4	収入について、施設利用料は減少したものの自主事業料等が大幅に増加しており、支出については効率的な人員配置を組むことで人件費を削減することができている。また、施設維持管理費や事業実施経費の抑制に努めており、黒字で管理運営を行うことができている。
（4）総合評価 優良　良好　妥当　要改善　不適	良好	基本協定書及び事業計画書に基づき、管理運営が適切に行われていた。 施設内外の利用者の安全第一を考え、快適に施設の利用ができるよう維持管理を行うなかで経費の削減等も行われ、安定した施設運営、管理ができている。

ACTION

評価結果に対する施設所管課の対応

当面の課題	・施設の維持管理として、以前からロッカーを直してほしいと利用者から要望が出ている。 ・屋内プールではないため、近年の猛暑による熱中症対策等、利用者の安全性を考慮した施設管理が必要となってくる。
課題解決への対応	・ロッカーについては、R6年度で男子更衣室、R7年度で女子更衣室のロッカーをすべて新しいものに交換した。 ・熱中症対策について、Ｂ＆Ｇ財団による救護室の設置に関する特別支援の案内もあるため、今後指定管理者と協議を行っていく。

二次評価（公共施設活用等検討委員会での総括意見）

・仕様書及び協定書のとおり適切に運営されている。
・施設維持管理については、定期的な保守及び計画的な修繕、更新がされている。
・多様な自主事業を展開し、利用者が増大したことは評価したい。
・引き続き利用者サービスの向上を図り、熱中症対策等安全かつ安定的な事業運営を行っていただきたい。